

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2009. 7. 1

No.2 1

低調な求人開始！



いよいよ本日から求人が開始。いつもより早く家を出、8時過ぎに学校に着き、進路室の掃除や片付けをして、本日の求人に備えました。しかし待てども一向に来客はなく進路室の前の庭に車が止まる度に外を見、企業からの来客を待ちました。10時少し前に最初の1社の伊那バスさんの役職の方々が3名来校されました。その後来客はびたりと止まり、進路室は閑古鳥が鳴いていました。3時半頃に2社目のKOAさんが来校し悲しくも嬉しい思いに一瞬浸りました。そしてまたもや待てど来客はなく結局本日はココまで。

昨年の今日は17社が来校しましたが、ある程度は予想していたとはいえ予想以上の状況に愕然としてしまった一日です。出鼻をくじかれるとはこういうことでしょうか。もとよりこれでおしまいということではなくこれから徐々に求人もあるものと思いますが、この深刻な状況を皆さんも一緒に受けとめて欲しいと思いあえて今日の状態をお知らせしました。



依然厳しい景気動向

いよいよ各企業からの求人活動が開始され、少しでも景気が持ち直し求人も上向いてくれることを願ってきましたが、県内の景気状況は依然厳しそうです。先に信濃毎日新聞社がまとめた企業へのアンケート結果を見ても急激な景気の落ち込みに一応の歯止めがかかったことがうかがえますが、世界経済の先行きに対する不安も消えず、現在の不安定な状況が今しばらく続きそうな気配です。

長野県内の5月の有効求人倍率も前月より0.02ポイント低下し0.39倍となり、1963年以来の最低の値を5ヶ月連続して更新したとのこと。地区別では上田が県内最低の0.24倍、次いで飯山と伊那地区が0.27倍と、依然としてこの地区の悪さが気になります。この調子では皆さんに関係する学卒者の求人がどこまで伸びてくれるのかが心配です。

本日求人票の冊子が皆さんの手元に届いたと思いますが、このページ数の少ないという現実の重さをしかと受けとめ、出来るだけえり好みせず求人のあるところには応募していかないと、少なからぬ人が最後に行くところが無くなる可能性が出てきます。求人票はまだこの先出てくると思いますが、この様な年は、自分だけの一時の固定観念にとらわれるのではなく柔軟な発想をしていかないと、この難局を乗り切れなくなります。

皆さんにとってはとんだ災難の年ではありますが、現実を嘆いても何の解決にもなりません。自分なりにどう対応していったらよいか知恵をしばってください。学校としても何とかこの難局を切り抜きたいと色々模索しています。